レンタサイクル案内

利用時間：9:00～17：00

■ご利用の手順

1．レンタサイクルの申込

事前予約は下記へ

紀北町観光協会（9：00～17：30）

TEL 0597－46－3555

※お電話にて、ご利用日、ご利用台数をお伝えください。（注意）受付の際には、身分を証するものが必要です。運転免許証・保険証・学生証などをご持参ください。

【ご予約の変更とキャンセル】

ご予約をキャンセルされる場合は、前日までにお知らせください。

当日のお申込は、下記の取扱所へ直接お申込ください。

注意：自転車の台数には限りがあります。

●紀北町観光協会（道の駅紀伊長島マンボウ内）

TEL 0597－46－3555

●ふれあい広場マンボ口（月曜休館）（ＪＲ紀伊長島駅横）

TEL 0597－47－1081

2．レンタサイクルの受取

指定の取扱所で申込用紙にご記入の上、代金と引き換えに自転車をお受け取り下さい。

【ご利用代金】

1日　1台につき　500円

3時間　1台につき　300円

3．レンタサイクルを返却する。

4．お申し込みの前に必ずご確認ください。

●レンタサイクルご利用中の事故等が発生した場合、保険適用範囲（ご利用の手引き「責任と保険」参照）以外の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。（保険料はレンタサイクルご利用代金に含まれています。）

タクシー案内

紀勢交通（有）0597－47－1511

バス案内

三重交通㈱南紀営業所海山事業所

0597－32－1321

紀北町観光協会

紀北町紀伊長島区東長島２４１０－７３

道の駅紀伊長島マンボウ内事務所

ＴＥＬ　0597－46－3555

ＦＡＸ　0597－46－3556

ＨＰ　http://kihoku-kanko.com/

紀北町観光協会ケータイサイト

魚まち歩観会ホームページ（注意：スマートフォンのみ）

紀伊長島の交通アクセス

列車で

東京駅 →（JR新幹線 1時間40分）→ 名古屋駅 →（JR特急 ワイドビュー南紀 2時間）→ 紀伊長島駅

京都駅 →（1時間50分 近鉄特急）→ 松阪駅 →（JR特急 ワイドビュー南紀 1時間）→ 紀伊長島駅

大阪上本町駅 →（近鉄特急 1時間30分）→ 紀伊長島駅

お車で

東京方面 → 名古屋方面（東名高速～伊勢湾岸道）→ 四日市JCT →（東名阪道）→ 亀山JCT →（新名神高速）→ 勢和多気JCT →（紀勢自動車道）→ 紀伊長島IC → 紀伊長島

京都方面 → 名古屋方面（名阪国道）→ 草津JCT →（新名神高速）→ 亀山JCT

大阪方面 → 京都方面（西名阪道）→ 伊勢湾IC →（伊勢道）→ 伊勢方面

紀北町内 ※紀伊長島ＩＣ～海山ＩＣは、無料区間です。

バスで

東京池袋東口 →（三交・西武バス／高速バス（夜行１日１便））→ 紀伊長島

名古屋名鉄バスセンター →（三交／名古屋南紀高速バス（１日７便））→ 紀伊長島

名古屋駅西口 →（熊野古道シャトルバス（１日１便・要予約）TEL 052－561－5100）→ 紀伊長島

空路で

各地 → 中部国際空港 →（津なぎさまち）→ 津駅（紀伊長島駅）／津IC（紀伊長島）

紀伊長島にゆかりの文学者たち

田山花袋

田山花袋（たやまかたい）は、明治31年27歳の時に紀伊半島を旅し、その際の紀行文が、『南船北馬　北紀伊の海岸』です。南船北馬の文中には、「その夜は町にても最も古く最も穀切りといへる嵐屋といえる大なる一旅館にやどりたる」と記述されています。嵐屋は、江戸時代から続いた旅館で平成16年に廃業し、平成17年10月に所有者の西山茂氏から紀伊長島町に寄贈されましたが、老朽化のため平成22年に解体撤去されました。現在、跡地は嵐屋記念「花袋の広場」と名づけられ、碑が建立されています。

三浦樗良

三浦樗良（みうらちょう）は、本名を三浦元克（みうらもとかつ）という伊人です。出身地について、伊勢市説、鳥羽市説、紀北町紀伊長島区の地蔵町説があります。紀伊長島の百姓たちと教えをこい、俳諧の道に進み、江戸や京都などを転々とし暮は伊勢市にあります。32 歳のときには、熊野市新鹿を訪れ、その年まで滞在して最初の句集『白頭鳥集』を編纂しました。新鹿には英文句碑が建立されています。紀北町では、昭和 33 年、赤羽川河口に漁火吟社の人々の尽力により樗良名月句碑が建立されました。「風ふく草の中より今日の月」という与謝蕪村が激賞した句が刻まれています。

江戸川乱歩

『怪人二十面相』などの推理小説で有名な江戸川乱歩（えどがわらんぽ）が、長島沖に停泊中の汽船の中で大島をみてヒントを得たという作品が少年探偵シリーズの「大金塊」です。大島は、岩屋島や鬼ガ島の名で登場します。また長島は、「汽車の中でねむって、そのあくる日の昼ごろには、三重県の南のはしの長島町について いました。それは海岸の漁師まちでした。町じゅうに、磯くさいにおいがただよって、近くの海岸から、ドドンドドンという波の音が聞こえていましたし。」と書かれています。

鈴木牧之

鈴木牧之（すずきぼくし）は、江戸後期の越後（新潟県）の文人で、当時の大ベストセラーとなった「北越雪譜」の著者として名高い。流行作家の滝沢馬琴や十返舎一九らと交流がありました。「西遊記神都詣西国 巡 礼」は、寛 政 8 年（1796）、27 歳の時に、伊勢神宮から熊野を巡祭した折の道中記です。紀伊長島では、荷坂峠で「長嶋や世を遁るなら此のあたりなど」と句、古里で「古里や種蒔人に国恋しなど」句、始神峠で二句を残しました。牧之の姉婿は、長島出身説もある御人・三浦樗良の俳諧の弟子です。牧之も子どもの頃、樗良に会ったとされています。

佐藤春夫

佐藤春夫（さとうはるお）は、新宮市出身の作家です。『山妖海異』という作品で、紀伊長島の「カンカラコボシ」というカッパにまつわる話が紹介されています。

伝説や民話が今も息づくこの町へようこそ

漁治郎左衛門とかんからこぼし

治郎左衛門は、腰の刀をぶっこ抜くといきなり「エイッ、ヤッ。」と切りつけた。「ギャア。」と物凄い叫びをあげて、かんからこぼしは水底深く姿を消したが、なんと腕だけは、馬のしりに、ぶらさがったままだった・・・

たかぼっさん

昔から長島の船は、どんな漁船でも、底のないひしゃくを一本つんで沖へ出たものです。大島や佐波留にかけての沖のダイナ（海原）の底に、「たかぼっさんという大入道がすんでいて、これに見つかるとどんな逃げ足の速い船でもたちまち追いつかれとっつかまえられてしまうんです。

※この二つのお話の続きは、かげ絵をご覧になってください。

かんからこぼし座のかげ絵

かげ絵を使って、魚まちの民話を子どもたちに伝えています。魚まちのたまり場にて上映。また、ホテルや民宿の依頼で宿泊客を対象に上映する場合もあります。

魚まち四季ごよみ

時 期	行事名	行事内容
1月上旬～2月中旬	城腰紅梅	長楽寺の樹齢 270 年の紅梅が早春に八重の可憐な花を咲かせる。
1月8日	八日薬師	海から上がった薬師如来の初命日を祝う祭り。豊漁安全を願い漁業者の参拝客が多い。
1月11日	弓の祷	長島神社で行われる 200 年前から続く豊漁祈願の伝統行事。
1月11日	息子の酒	河童退治伝説に基づき、魚まちで男児の子が生まれると、正月、漁家を訪れ主人と親子の杯を交わす。
1月中旬	船だんじり	長島神社の祭礼。鰹船を模した山車に乗り込み、鰹の一本釣り漁を演じる大漁祈願の伝統行事。
2月3日	鯛鯖うって	節分の日に「たいさま（鯛鯖）うって～」と、子供たちが、町なかの家々をまわってお菓子をもらう。
7月第4土曜日	燈籠祭	夏の風物詩「長島の大燈籠祭」。海に浮かぶ燈籠と花火の大競演。
9月～10月	昭和の縁日	おばけ屋敷にゲーム中食べ物の屋台がいっぱい。子どもだけでなく懐かしい遊びは大人も楽しめる。
12月	年末きいながしま港市	新鮮な干物や魚介類が並ぶ年末恒例港市。買った物をすぐ焼いて食べられるも輪コーナーが人気。

「魚まち」ってどんなところ？

東紀州地域の玄関口に位置し、県内有数の漁獲高を誇り、昔から漁業や海産商、末た風待ち港として栄えてきました。魚市場や江の浦の漁港は、今も昔ながらの漁師町の風情を色濃く残しています。そして、海や川にまつわる伝説や民話が大切に守り継がれ、暮らしに息づいています。

「古道魚まち歩観会」の名前は？

古道へ来たみなさん、「魚まち」を歩いてみませんか？（長島弁で「あるかんかいー？」）という意味が由来です。

「古道魚まち歩観会」ってどんな団体？目的は？

魚まちに活気を取り戻すため次のような活動をしています。

- 古道客を町なかへ
- 情報発信
- 歴史勉強会
- 民話や文化の伝承
- 年末港市への協力
- 町なか案内

案内板や縁台の設置、マップの作成など

ホームページ、「魚まち通信」の発行

ガイドの育成、ガイドブックの作成

ウォークラリー、「昭和の縁日」、かげ絵の開催

※賛助団体やボランティアと共同して開催

お客様のおもてなし（七輪コーナーなど）

ツアー客や各種メディアなどの案内

今後も地域団体、紀北町観光協会や県・町と協力し合って、地域資源を活かした町づくりを目指して行きます。

魚まちガイドの紀介

魚まちにいる間、平成を忘れて昭和の時代に戻ってくださいね。 植田

古くからの魚まちの民話や生活を紹介しますよ。 山田

歴史は私に任せて下さい。解りやすくお話しします。 和手

※ほかにも親切に案内してくれるガイドばかりで

ガイド料金　一人400円（5人以上）

時　間　1時間～1時間30分　要予約!!

連絡先　紀北町観光協会（0597－46－3555）

世界遺産 熊野古道 伊勢路

紀北町には、世界遺産に登録されている峠が多くあります。峠を抜けたlargeは、ぜひ魚まちへ。魚まちを抜けたときには、ぜひ熊野古道へお立ち寄りください。四季折々の美しさがあります。

荷坂峠

国道４２号荷坂トンネル（大紀町側）のすぐ脇が古道の降り口。しばらく行くと山間を走る列車の撮影ポイントがあるので見渡すといいように。見晴らしの良い沖見平を経て、雑木とシダの山道を下り、道の駅マンボウまで歩くのがおすすめ。若葉とオンツツジの花が咲き乱れる頃が特に美しい。

ツヅラト峠

峠からの景色は、熊野古道伊勢路の中でも一、二を競うほどの美しさ。紀勢大内山 IC から車で７～８分の定桜公園からスタートして、紀北町側に降りるコースがおすすめ。九十九折れの道と石畳をゆっくり下れば、志子の花広場で里山の風景と出会える。

一石峠

※一石峠は世界遺産に登録されていません。

徒歩なら加田の「心泉園」前を出発、車なら「江の浦トンネル」の東口を曲がり、400mほどで駐車場へ。登り口には可愛いお地蔵さんが出迎え。林道を下り車道を右に進めば古里の集落とみかん園が広がる。集落を抜け国道沿いに進めば三浦峠に至るサル道、または「古里歩道トンネル」へ。

二浦峠（紀伊名所図会）

国道４２号荷坂トンネル（大紀町側）のすぐ脇が古道の降り口。しばらく行くと山間を走る列車の撮影ポイントがあるので見渡すといいように。見晴らしの良い沖見平を経て、三浦峠（熊ヶ谷道）の登り口へ。檜（ひのき）林の中を進み、地元産檜の木木で作られた熊谷橋を渡れば JR 三野瀬駅には 10 分ほどで到着する。

始神峠

始神さくら広場の奥から行く江戸道と国道を横切ってから登る明治道の二つの登り口がある。頂上で合流するため周遊コースとなりお手軽。ゆるやかな道が続く初心者コース。頂上からは、点在する小島や半島が独重にも連なる景色が広がる。

馬越峠

登り口が、国道沿い鷲下バス停のすぐ横という便利さと、石畳の美しさで熊野古道伊勢路入口。リピーターが多い。天狗倉山と便石山の間に位置するので登山愛好家にも親しまれ、また近くには銚子川や権兵衛の里がある。

魚まちの「おすすめ」と「お楽しみ」情報！

朝の市場見学

朝７時～８時ごろ魚市場へ行くと魚の水揚げや競りの様子を見ることが出来る。忙しいのでじゃまにならないように見学してね。

昇降橋の上がるところ

魚まちは、船が優先。橋が上がると歩行者や２輪車は、遮断機の手前で船が通るのを待つよ。運が良ければ出会えるかも。

蘇民将来子孫門ってなに？

魚まちの漁師の家には、注連縄に蘇民将来子孫門の木札がかかっている。木札の由来は、ガイドさんに聞いてみよう。

長島弁で話そう

浜へ行けば漁師や先輩漁師のおじちゃんたちが毎日集まる「たまり場」があるよ。面白い長島弁を聞かせてくれるかも。「あばばい」って？？？

エビ網の出漁風景（11 月～４月）

午後３時になると船着場から船が集まってきて一斉に沖を目指す光景は圧巻。

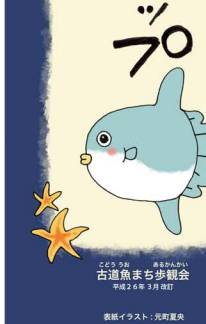
珍しい魚の干物をさがそう

いさばや巡りをして、珍しい魚の干物をみつけよう！！

アルファ橋からの眺望

アルファ橋からのながめは、江ノ浦湾と町並みが一望できる絶景ポイント。エビ網漁もここから見よう！！ただし、車に注意。

紀北町 きいながしま 魚まち散策マップ



古道魚まち歩観会（こどううお あるかんかい）

平成２６年 ３月 改訂

表紙イラスト：元町夏央